

せいしんかい報

2018年1月1日 第115号

注目記事

- ◆1～3ページ 年頭の挨拶
- ◆4ページ ハーモニーセンター完成
- ◆5ページ 東北労働金庫様からご寄付

法人本部

〒972-0161 福島県いわき市遠野町上遠野字堀切12-1
☎(0246) 74-1551 ㊟(0246) 74-1561

救護施設やしおみ荘

〒972-0161 福島県いわき市遠野町上遠野字堀切27
☎(0246) 89-3333 ㊟(0246) 89-3334

障害者支援施設ふじみの園・ショートステイほっと

〒972-0252 福島県いわき市遠野町上根本字白坂384-1
☎(0246) 89-3400 ㊟(0246) 89-3454

グループホーム レジデンスなごそ

メゾン・ド・あたご、メゾン・ド・ほりきり、コーポおかおな

ワークセンターしおさい

〒971-8161 福島県いわき市小名浜諏訪町1-10
☎(0246) 73-2077 ㊟(0246) 73-2078

天真庵

〒974-8212 福島県いわき市東田町2-11-7
☎(0246) 77-2033 ㊟(0246) 77-2733

障害児通所支援第2チャーむ・日中一時支援第2チャーむ

〒973-8409 福島県いわき市内郷御台境町鶴巻45-2
☎(0246) 84-6882 ㊟(0246) 84-6883

障害児通所支援みよん・日中一時支援みよん

〒974-8261 福島県いわき市植田町林内11-1
☎(0246) 85-5720 ㊟(0246) 85-5721

ハーモニーセンター

〒971-8162 福島県いわき市小名浜花畑町19-10

・指定特定相談事業所・せんとらる

☎(0246) 38-3520 ㊟(0246) 38-3521

・虹のかけはし

☎(0246) 73-0111 ㊟(0246) 73-0112

・障害児通所支援チャーむ・日中一時支援チャーむ

☎(0246) 73-2033 ㊟(0246) 73-2034

謹賀新年

社会福祉法人 誠心会 理事長 松崎 有一

謹んで、新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、多くの方々にご支援賜りましたことに大変感謝申し上げます。

去年は、世界的に大きな出来事がありました。アメリカでは、トランプ大統領の就任。北朝鮮では6回の核実験、弾道ミサイル発射も相次ぎ強行。韓国においては朴大統領の罷免。フランス大統領は最年少39歳のマクロン氏が就任。イギリス政府はEU離脱を正式通知。世界の各地で爆弾テロ発生。国内では、衆議院選挙で自由民主党圧勝。天皇退位特例法成立により、退位日が2019年4月末となり5月には改元となることが決定しました。将棋界では14歳棋士藤井四段が29連勝の新記録や、上野動物園でパンダが誕生など明るい話題もありました。当法人では、市内小名浜地区に複合型施設ハーモニーセンターを建設し、昨年11月に完成しました。そこには、相談支援事業、障害児通所支援事業(定員10名)、就労継続支援事業(定員30名)、就労移行支援事業(定員6名)を開始しました。これらの事業所は旧来からあった事業で、そ

れぞれ借家で別々のところにはありましたが、国庫補助金といわき市の補助金で完成しました。それぞれ国、いわき市に感謝申し上げます。

障害福祉に目を向けると、障害者総合支援法が平成28年に一部改正され、平成30年4月1日に完全施行される運びとなり、それらは自立生活援助、就労定着支援等新しいサービスが創設されました。さらに、地域共生社会の実現を目指し厚生労働省においては、平成28年より「我がごと・丸ごと」地域共生社会実現本部で検討会が開催され、介護保険法の一部改正により「共生型サービス」として障害児・者、高齢者と分け隔てなく支援できるよう制度設計されてきています。さらに本年は、診療報酬、介護報酬、障害福祉サービス報酬改定が行われる予定となっております。法人経営はかなり苦しくなってくる昨今ですが、法人役職員一同今年も一丸となって障害福祉に貢献して参りますので、倍旧のご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。

2018

新年のごあいさつ

救護施設 やしおみ荘

施設長 渡邊誠二郎

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

昨年中は、利用者様やご家族様そして地域の皆様より、暖かいご支援やご理解を賜り厚く御礼申し上げます。当法人では、『地域に信頼され、地域に愛され、地域と共に進化し、信頼と安心と安全、人権を尊重し、そして生きがいを提供する』という経営理念のもと、やしおみ荘におきましても、利用者様やご家族様そして地域の皆様から安全で安心できる、そして信頼される施設作りを目標に、職員一同一丸となって努力して参りました。これもひとえに、地域住民、各関係機関等の皆様の御理解と御協力があったからこそ継続できたものと深く感謝申し上げます。

救護施設の役割については、施設内だけでの支援で完結していた時代から中間施設へと、施設機能が少しずつではありますが変わってきております。当施設におきましても、昨年より居宅生活訓練事業として2名の方が、自立した生活に向け、アパートで職員のサポートのもと生活を始めました。施設で受け入れた後、本人のニーズに合わせ、地域移行等の支援を継続して行っているところでございます。

また、当施設におきましては毎年恒例の行事として、「やしおみ荘夏まつり」を開催しております。地域に根差した祭りとして、地元の方々と一緒に楽しむことができいております。今後共、地域に愛される施設となっていけるよう、努力して参りたいと思っております。

今後、私たちは福祉のみにとらわれることなく、地域の活動を通じて社会貢献にも力を注いでいき

たいと考えております。その一環として、社会福祉法人としての公益的な取り組みとして、生活困窮者等の支援を始めております。

まだまだ力不足は否めませんが、本年も利用者様、ご家族様、そして地域の皆様方の変わらぬご指導ご支援をお願い申し上げます。皆様におかれましても、今年が良き年になりますように、ご祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。

就労継続支援B型

虹のかけはし

ワークセンターしおさい

天真庵

管理者 矢吹 美和

新年明けまして、おめでとうございます。

利用者様、ご家族様、地域の皆様並びに関係機関の皆様の多大なるご支援、ご協力を賜り、新年を無事迎えることが出来ました事に感謝申し上げます。

「虹のかけはし」は昨年12月に小名浜花畑町に移転し、パンの店舗をかまえ、就労継続支援B型に加え、就労移行支援も開所いたしました。また同じく12月より、主たる事業所「ワークセンターしおさい」従たる事業所「天真庵」として新たに指定を受け、今までの環境と変わりましたが、職員一人一人が仕事の重みを感じながら、利用者様と力を合わせて日々の仕事に取り組んでいます。利用者様の働きたいという気持ちに応え、これからも地域に必要なとされる事業所であり続けるために、今まで以上に職員一同邁進して参りたいと思っております。本年もご支援ご指導の程、宜しく願い申し上げます。

障害児通所支援

ちゃーむ・第2ちゃーむ・みによん

管理者 小宅 幸恵

皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、ハーモニーセンターの竣工に伴い、障害児通所支援ちゃーむが相談系及び就労系と同居する複合型施設へ移転となりました。

放課後等デイサービスだけでみた場合、事業者数は全国で1万を超え、児童発達支援と共に事業者数、総費用額、利用児童数で大幅な増加を続けており、ドミナント地区においても多くの事業所が立ち上がっております。昨年度、当法人のせんとらるで主催した厚生労働省の講演会でも話されていましたが、利用児童にDVDだけを観せたり、ドライブを主にした支援とは呼べない支援を行なっている事業所が問題視されているとの事でした。

今年は、ハード面が充実した今、ソフト面(質)の更なる充実が求められますので、職員一丸となって知恵を絞って取り組んで参ります。

今一度、皆様方に更なるご協力をお願いいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

共同生活援助

レジデンスなこそ

管理者 永沼 憲一

新年あけましておめでとうございます。

利用者様、ご家族様、地域の皆様、福祉関係者の皆様には、健やかに新年を迎えられたことと、心よりお喜び申し上げます。また日頃より、私どもの福祉活動に対しまして多大なご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

グループホームを利用されている利用者様の思いは、日中活動の充実や将来の自活生活など、目

標は様々ですが、今年も変わらずそのニーズを中心に、可能な限り目的が達成されるよう支援してまいりたいと考えております。

また、社会福祉法人が地域の皆様に対してどのような貢献が出来るかが問われている今日、例えば福祉避難所としての役割など、少しでも皆様のお役にたてることを実施して行きたいと考えております。

今年も職員一同、力を尽くしてまいりますので、皆様のご指導、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

相談支援事業所

せんとらる

管理者 七木田 俊介

新年明けましておめでとうございます。昨年7月よりせんとらるの管理者を拝命以来、皆様には大変お世話になり感謝申し上げます。昨年12月から事業所も複合施設ハーモニーセンターへ移転となり、こちらは豊洲市場への移転とは異なり、万事滞りなく終了いたしました。職員一同新たな決意をもって一層業務に精励する所存であります。また、皆様のご来訪をお待ちしております。

昨年度よりいわき市では基幹相談支援センターが発足し、相談支援体制の充実、強化が図られました。日々の相談業務の中で感じる親亡き後の不安や緊急時の過ごし方、社会資源の不足などの課題を基幹相談支援センターなどと連携を図りながら解決に向けて取り組んで参りたいと思います。

本年も寄添う支援を目指し職員一同努力して参る所存でございますので、皆様のご支援ご鞭撻を賜りたくお願い申し上げます。

「ハーモニーセンター」開所しました

かねてより建設中でありました複合施設「ハーモニーセンター」が平成29年12月1日より下記住所において開所となり、小名浜地区に所在する当法人運営の「指定特定相談事業 せんとらる」「就労継続支援B型 虹のかけはし」「障害児通所支援 ちゃーむ」の3事業所が移設しました。「就労継続支援B型虹のかけはし」においては、就労継続支援B型の定員を20名から30名に拡大し、就労移行支援も定員6名で開始する予定です。また施設内には、虹のかけはしで製造しているパンを販売するお店も開店し、地域の皆様との交流も深めてまいります。今後、職員一同気持ちを新たに精励する所存でございますので、今後ともご支援ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

住 所：〒971-8162

福島県いわき市小名浜花畑町19番地の10

電話番号・FAX

せんとらる・虹のかけはし・ちゃーむ とも
従来同様の番号です。



東北労働金庫様からご寄付を頂きました

ふじみの園

東北労働金庫様では、社会貢献の取り組みの一環として社会貢献目的定期預金の利息相当額と東北労働金庫からの拠出金を合わせ東北6県内の福祉団体、福祉施設等に毎年寄付をする取り組みとして、今回ふじみの園にもご寄付を頂きました。12月8日(金)



の東北労働金庫福島県本部での贈呈式に、ふじみの園次長 櫛田節子 様 出席し、寄付金9万円を頂いて参りました。利用者様の為に有効に使わせて頂きたいと思っております。ありがとうございました。



やしおみ荘へ行こう

やしおみ荘

11月9日(木)と16日(木)、上遠野小学校4年生が来荘し、利用者と交流する「やしおみ荘へ行こう」を行ないました。1日目では施設長から施設の内容とどのような方が利用しているのか等の講話をしました。メモをとりながら真剣に話を聞き、質疑応答の時間には積極的に質問している子もいました。

その後は子ども達が体育館で合唱・合奏を披露してくれました。子ども達が歌を歌っていると、歌詞が分かる利用者は一緒に歌ったり、楽器での合奏が始まると手拍子をとったりと各々にその時間を楽しんで過ごしていました。

2日目は2グループに分かれ、利用者との交流を図りました。1グループはお茶のお点前の体験です。利用者が点てている姿を見て緊張しているようでしたが、点てたお茶と茶菓子のお饅頭を口にすると「おいしい」「初めて飲んだ」と驚きと共に嬉しそうな感想が聞かれました。また、子ども達一人ひとりがお茶を点てる体験も行ない、お茶を点てる事が想像以上に大変だった様子で利用者が手解きしていました。自分で点てたお茶は格別だったと思います。

もう1グループは12月も間近ということもあり、クリスマスリースやクリスマスツリーにサンタクロースの人形や星を付けたり、キャンドル型のライトに好きなペンやシールで装飾しました。教室で飾る事を勧めると「嬉しい」等、さっそく笑顔で先生に見せていました。

今回の交流を経て、利用者からは「楽しかった」「子ども達は元気な感じがいいね」「また一緒に作りたい」、子ども達からも「楽しかった」「利用者さんの事が知れて良かった」との感想が聞かれました。

参加した子ども達にとって、今回の体験が少しでも福祉に対する理解が深められたら嬉しいと思います。



植田歩行者天国販売

虹のかけはし・しおさい・天真庵

10月10日(火) 植田歩行者天国での販売に3事業所が参加しました。虹のかけはしはパン・シュークリームを、しおさいはうどん・ラーメンを、天真庵はおこわセット(卵焼き・唐揚げ付き)を販売しました。

当日は天候にも恵まれ、皆も最初から大きな声で呼び込みを行う姿が見られました。職員も一緒に声を出して、3事業所一体となり販売を行いました。

全部の商品が完売すると、皆笑顔で「やった。又来年も、頑張ろう」と笑顔で締めくくり、販売を終える事が出来ました。

今年度もちゃーむ・第2ちゃーむ・みによんの3事業所で、9月30日（土）にサニーポート小名浜を、10月7日（土）にわいの家を訪問しました。

各事業所ごとに夏休み中から頑張って練習してきた演目を披露してきました。ちゃーむは「よさいこいダンス」、第2ちゃーむは「はらぺこあおむし」のペープサートを、みによんは星野源の「恋」ダンスとピアノの弾き語り（曲目：虹）を行ないました。緊張して練習通りにいかなかった利用者もいましたが、皆一生懸命頑張りました。施設の高齢者の方々もとても喜んでくれました。利用者の発表の後には職員もピアノで「愛燦燦」、ピアノとギターで「みだれ髪」と「365歩のマーチ」、ギター2本で「見あげてごらん夜の星を」を演奏しました。皆さん知っている歌ばかりなので一緒に歌って楽しく聴いていただきました。利用者の演目を見守るのも緊張でしたが、自分たちの発表は見守る以上に緊張したかもしれません。その後、高齢者の方々との交流の時間はみんなで音楽に合わせて楽しい時間を過ごすことが出来ました。利用者も高齢者の方々も有意義な時間を過ごしとても楽しい時間となりました。



権利擁護委員会 第三者委員との懇談会



11月21日（火）就労継続支援B型事業所「天真庵」にて、会食後、平成29年度上半期の権利擁護委員会第三者委員との懇談会を開催しました。第三者委員からは鎌田真理子氏、七島吏江氏が出席されました。法人内からは松崎理事長をはじめ各事業所の権利擁護委員8名が出席し、平成29年2月16日～平成29年9月30日までに受け付けた苦情について報告をしました。「事例を聞く事で職員の皆さんが色々な努力をして下さっているのが分かった、対応についても迅速に行なわれていて利用者さんも安心して生活できているのではないかと思います」「法人内の自助努力を高め、苦情解決への取り組みをより一層強めてほしい」とのご意見を頂きました。

また、「今後、ノーマライゼーションが広まっていくことで自由度が増し、利用者の意思決定支援に苦慮してくるケースが増えるのではないか」とのご意見も頂き、今後の支援のあり方についても苦情、要望を通して考えさせられる会となりました。

このように「第三者」の方の目が入り、評価されることは必要不可欠で大事なことであります。頂いたご意見を真摯に受け止め、今後の支援に役立て、法人として更なる取り組みを強化していく必要性を感じました。

親子合同芋煮会

10月9日（月）子どもたちの賑やかな声が響きわたる秋晴れの下、親子合同芋煮会が遠野オートキャンプ場にて行われました。たくさんのご家族にご参加いただき、お陰様で盛況のうち芋煮会を終えることができました。



芋煮会のメニューは、例年通り「焼肉」「焼きそば」「豚汁」の肉尽くしの3品でした。各班に分かれたあと、まず火おこしから始まりましたが、これがなかなか大変でした。新聞紙に火をつける職員、炭を転がすお父さんお母さん、そして一生懸命うちわであおぐ子どもたち、お肉が焼けた時のあの一体感はまさに芋煮会ならではの体験でした。満腹になった後は、こちらも恒例の宝ひろいゲームを行いました。今年は親子二人三脚での競争でした。保護者の皆さん、筋肉痛にならなかったでしょうか。

美味しい食事と子どもたちの笑顔、最高に楽しい一日でした。来年も是非たくさんのご家族のご参加をお待ちしております。

日帰り旅行 遠距離

やしおみ荘

11月6日(月)日帰り旅行遠距離班は、夏井川溪谷の紅葉見学と観光遊覧船に乗船してきました。例年は10月に実施していましたが、今回は紅葉のシーズンに合わせて行ないました。当日は天気がよくいい旅行日和となり、夏井川溪谷まで約1時間かけてゆったりバスに揺られました。途中、ガイドさんからいろいろな説明を受けながら、車窓からの景色を眺めていました。夏井川溪谷は紅葉の見頃には少し早く、赤い葉が少なく感じましたが、周囲には紅葉の写真を撮っている方もいました。

昼食は小名浜方面へと移動し、刺身や天ぷら等、沢山のお料理を食べました。昼食を終え、小名浜港の観光遊覧船に乗船しました。乗船する時に、船が揺れて怖がる方もいましたが、船が出発するとすぐにカモメが船の後ろに飛んで来て、船員の方がカモメの餌やりをしている姿を見ると、利用者からカモメの餌やりをしたいと希望がありました。餌を投げてカモメが上手に口でキャッチすると皆さん喜んでおり、利用者の中には、餌を指先に持って直接カモメに食べてもらおうと挑戦している方もいました。乗船時間の50分間はあっという間でしたが、最後に船をバックに集合写真を撮りました。久しぶりの海の眺めと潮風を感じる事ができました。



一泊旅行 ～茨城・千葉方面～

やしおみ荘

10月12日(木)～13日(金)の2日間、男性利用者7名、女性利用者8名、職員5名で茨城・千葉方面に一泊旅行に出かけました。

最初の目的地は茨城県にある、こもれびの森イバランド。ここでは利用者や職員が一人ひとりピザを生地から作る体験をしました。慣れない作業に戸惑っていましたが、スタッフの方にコツを教えながら、生地やトッピングで個性のあるピザが出来上がりました。昼食にその焼いたピザを食べましたが、自分達が作ったピザは特別でした。当日は10月としては最高気温を記録したとても暑い一日でしたが、園内を周遊トレインで散策し、うさぎ等の小動物との触れ合いを楽しみました。

千葉の濃溝の滝では、夕暮れ時の滝も神秘的でした。自然のきれいな空気を満喫した後は、鴨川シーワールドです。珍しい夜の水族館の見学をし、オットセイやペンギンの寝姿や泳ぐ姿等、普段とは違う生態を見る事ができ、利用者もガラスに向かって食い入るように眺めていました。2日目はシーワールドでイルカのショーと大迫力のシャチのショーを見学。体長4mもあるシャチとトレーナーの見事なコンビネーションを見学する事ができ、あまりの迫力と水しぶきに利用者も驚いていました。

水族館を後にした私達は、海ほたるでの昼食を摂りました。前日の好天気とは反対に気温が低く雨も降り、天気が良い日には見えるはずの東京湾の眺めも今回はお預けとなってしまいました。両手一杯にお土産を買い、写真もたくさん撮った思い出深い2日間でした。



ウォーキング

ふじみの園

天高く馬肥ゆる秋。11月6日(月)ふじみの園ではウォーキングを行いました。

今年度は、参加する利用者みんなが目標を持って歩けるように、入念な下見を行って距離を調整した3コースを設定、コース途中に設置された休息ポイントにシールを置いてシールラリーも行いました。山々に見える紅や山吹色に染まった紅葉、路傍の美味しそうな柿の実に目を奪われながら、入遠野からふじみの園に向けて各々のコースを楽しんで歩くことができました。運動不足の職員を追い抜き「はやく、はやく」と急かす利用者もあり、みんなで体を動かし爽やかな気分になりました。ウォーキングの途中、大きな声で挨拶や声援を頂いた町内の皆様、ありがとうございました。





クリスマス会 ～遠野保育所の子ども達をご招待しました～ やしおみ荘

12月13日(水)やしおみ荘体育館にてクリスマス会を行いました。今年も社会福祉法人の地域貢献事業の取り組みとして、遠野保育所年長組の園児14名と先生4名を招待しました。11月から利用者の実行委員と話し合いを行い、子ども達に楽しんで頂けるようなゲームを考え、司会の練習も行っていました。職員とは異なる意見が出たり、「～したらもっと楽しんでくれるのではないか」と積極的に話し合いもでき、当日に向け緊張もしているようでしたが、その過程も楽しんで見受けられました。

招待した子ども達を拍手で迎えると、その日は朝から楽しみでソワソワしていた利用者も笑顔が見られました。施設長、佐川所長から挨拶を頂いた後は、いよいよ子ども達の出し物です。男の子と女の子に分かれ、それぞれにお遊戯を披露して頂きました。男の子は元気よく、女の子は可憐に踊る姿を見て、嬉しそうに微笑んでいる方、涙ぐんでいる方もいました。

そしていよいよビンゴゲームです。普通の数字を使ったビンゴではなく、動物や果物等のイラストを使う、利用者が考えたオリジナルのビンゴです。子ども達と利用者の混合のグループもあり、引き当てたカードを伝えると、「これだよ」「ネコだって」と利用者が子ども達に優しくルールを教えてあげており、「ビンゴー」と元気よく手を上げていました。



最後には、色付きの刺繍糸を使って手作りしたキーホルダーをサンタクロースに扮した利用者からプレゼントしました。楽しい時間は過ぎるのがはやく、終わりの時間となり、利用者子ども達は握手やハイタッチをして各々にお別れをしていました。

後日、遠野保育所の先生や子ども達から「ゲームで利用者と交流できて楽しかった」等、感想を頂きました。遠野保育所の皆さん、お越し頂きましてありがとうございました。



クリスマス会

ふじみの園

12月18日(月)に植田町にある八幡台やまたまやでクリスマス会を開催しました。今回はソプラノ歌手の橋本妙子さんと菊池章夫さんにご出演頂きました。また、利用者の日々の様子や旅行等の思い出の写真をまとめ、スライドショーを行いました。利用者、そして参加して頂いた保護者の皆様が会食しながらライブやスライドショーを観賞し、楽しいひと時



を過ごす事が出来ました。園に戻ってからは、職員が扮したサンタクロースとトナカイから一人ひとりがプレゼントを受けとり、利用者さんは終始笑顔でした。来年は、職員にもサンタクロースとトナカイからプレゼントをもらえることを期待したいと思います。



クリスマス会兼忘年会

12月22日（金）午前中に作業を終え、すたみな太郎平店でクリスマス会兼忘年会を開催しました。

皆さんとても楽しみにしていたイベントで朝からとてもワクワクしている様子でした。

食べ過ぎに気を付けながら焼肉にカレー、デザートやジュース等それぞれ好きな物を食べて会話を楽しみ、1年間の就労を労い合いました。今年の締めくくりとして笑顔溢れる素晴らしい会になりました。



ワークセンターしおさい

クリスマス会

12月25日（月）午前中に作業を行い、昼食後クリスマス会を行いました。最初にケーキを食べ、その後は皆が待ちにまったビンゴ大会。職員が数字を読み上げていくと、皆から「ないよー」や「あったー」の声があちらこちらから聞こえ、だんだんと部屋中が熱気に満ち溢れていきました。

ビンゴが出ると、一人ひとりにプレゼントを渡していき、笑顔でクリスマス会を締めくくる事が出来ました。

虹のかけはし



クリスマス会

12月15日（金）午前中に作業を終え、クリスマス会を行いました。

今日は、楽しみにしていたクリスマス会であったため、朝からみんなのテンションが高く、いつもとは違った表情が見られていました。ビンゴゲーム、カードゲームでは「やったあ」と大きな声をだし笑い声が聞かれ一人ひとりが楽しく過ごすことが出来ました。

天真庵



クリスマス会

ちゃーむ・第2ちゃーむ・みによん

12月25日（月）ハーモニーセンターにてちゃーむ、第2ちゃーむ、みによんの3事業所合同でのクリスマス会が行われました。今年は前日がクリスマス・イヴだったこともあり、始まる前には子供たちからは「〇〇を貰ったよ」などのお話も聞かれました。初めての場所に加え、大人数での行事でいつもとは異なる環境でしたが、皆で楽しく参加出来ました。歌を唄ったり、音楽や絵本を鑑賞した後はサンタクロースの登場です。一人ひとり名前を呼ばれプレゼントを貰うと、サンタクロースとの記念撮影もあり、沢山の笑顔が見られました。から揚げやケーキも食べ、まさにクリスマスの催しとなりました。



研修報告



ふじみの園 生活支援員 白石 紗姫

11月23日（木）に、福島県自閉症協会による「成人期を見据えた自閉症スペクトラムの人たちへの支援について」の研修に参加させて頂き、自閉症の方の特性や特徴、パニック時やこだわりへの対応法について学んできました。現在担当させて頂いている利用者さんの中に自閉症の方がおります。その方に対する支援が上手いかず、立ち止まっていました。問題行動があった時には、目

先の対応方法ばかりを考え、要因や背景を十分に考えられていませんでした。支援者ばかりが悩んでいると思っていましたが、問題行動やパニックには必ず要因があり、その方自身も苦しんでいる事、辛い思いをしている事を知りました。表面上の問題だけではなく、根本に何があるのか、その方自身にとって住みやすい・安心出来る環境は何かをもう一度考え直し、支援に活かしていきたいと思えます。

寄付を頂いた方

佐藤 淳一 様（佐藤理容所 様） 東北労働金庫様

編集後記

あけましてごさいます。お正月はいかがお過ごしだったでしょうか。美味しい物を食べたり、家族でゆっくりしたり、どこかへ出かけたり…。お正月気分が抜けないうまま、あっという間に仕事始めや3学期がやってきました。今年の冬は特に厳しく、寒さや雪に慣れない方も多いと思いますが、この先は節分、バレンタイン、ひな祭り行事が目白押しです。そして冬季オリンピックがやってきます。風邪やインフルエンザに留意し、楽しく、熱い冬を過ごして下さい。

